

中小企業向けシンポジウム 収益向上めざそう

国交省 全ト協

経営革新に挑戦している中田商事の中田純一社長、相互向を行うことで労働力の確保を
目指した

秋田秋印運輸の三浦征善専務が、それぞれ事例紹介を行った。

インセンティブ施策助成事業は、中小トラック運送事業者の創意工夫により、採算性・収益性の向上を図るような新たな事業を実施した場合、その事業者に助成するもの。

トラック協会に加入する事業者で、大手事業者との資本関係がない独立した事業体で、かつ保有台数が五十台以下、または従業員数

百人以下の事業者が対象。助成金額は、一社当たり三百万円を限度とし、十九年度は六千

万円の予算が組まれている。申請受け付けは、第一期が平成十九年七月一日から同九月三十日、第二期が同十月一日から同二十年一月三十一日まで。予算枠に達し次第終了。



「イメージが悪すぎる」

中田商事 中田純一社長

シンポジウムで事例紹介した中田商事（三重県伊賀市）の中田純一社長。「知識がないと何も考えられない。知識が付けば知恵が出る。そうすれば、どうすれば利益が出るかわかってくる」と自身のこれまでの経験を語った。

さらに、業界の「イメージが悪すぎる」と指摘。「業界イメージアップのためにも、映画やドラマをやるべきだ」との持論を展開した。

（高田直樹）